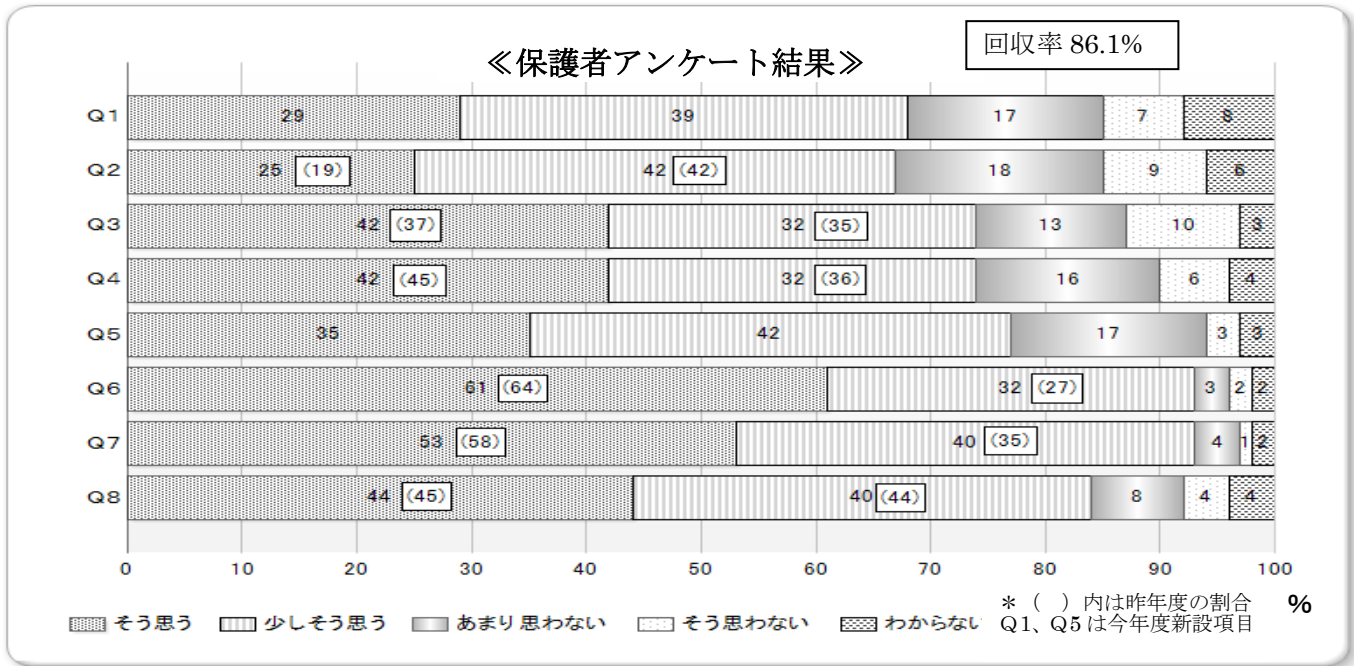




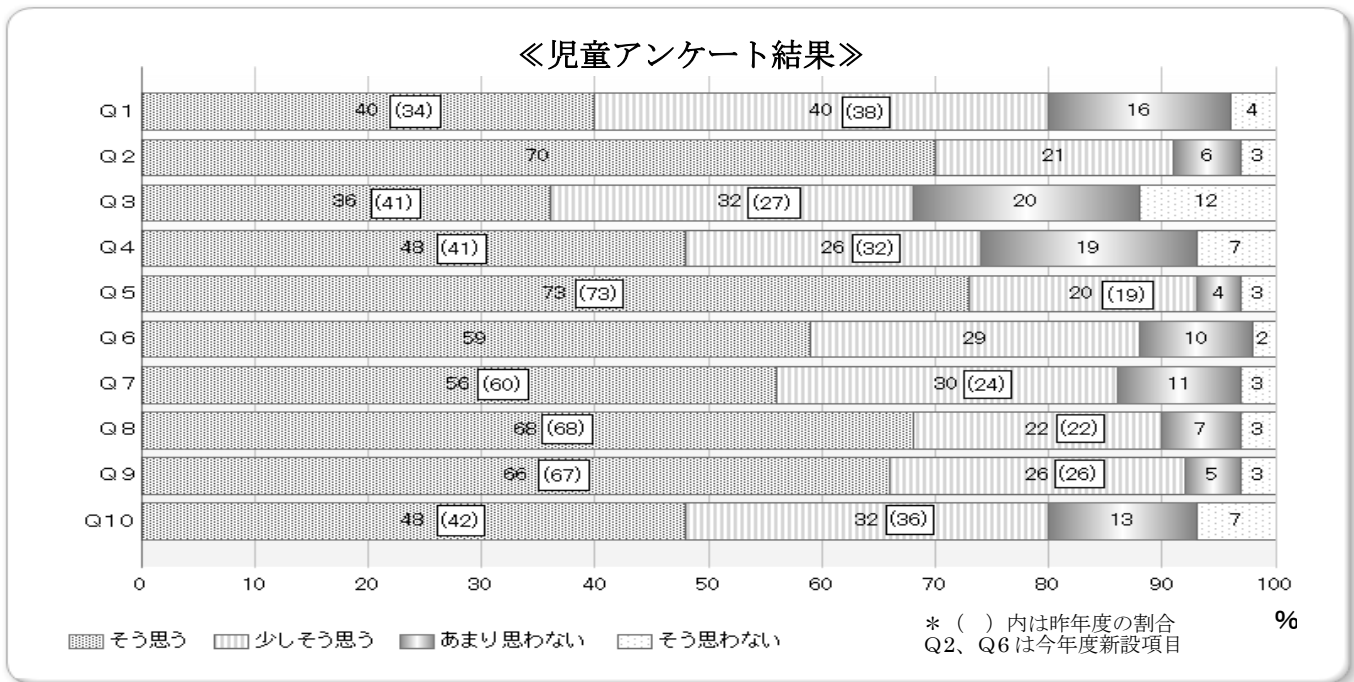
日頃より、本校の教育活動にご理解をいただきまして、誠にありがとうございます。また、学校評価アンケートにもご協力いただきまして、心よりお礼を申し上げます。

集計がまとまりましたので、お知らせいたします。この結果を教育活動改善のための貴重な資料とさせていただきます。今後ともよろしくお願いいたします。

### 平成30年度 学校評価アンケート



- Q1 子供は、気付いたことや自分の考えを書いたり、発表したりしている。
- Q2 子供は、文章を書く力が身に付いてきた。
- Q3 子供は、読書に親しんでいる。
- Q4 子供は、外で元気に遊んだり、すすんで運動したりしている。
- Q5 子供は、元気で返事やあいさつをしている。
- Q6 子供は、楽しく学校に通っている。
- Q7 子供は、友達と仲よく生活している。
- Q8 学校は、HPやメール、学校だより、学年・学級だよりなどを通して学校の様子を伝えている。



- Q 1 自分の考えを発表している。
- Q 2 生活科、総合的な学習の時間が好き。
- Q 3 文章を書くことが好き。
- Q 4 すすんで本を読んでいる。
- Q 5 体育の授業で一生懸命運動している。
- Q 6 元気よく返事やあいさつをしている。
- Q 7 学級会の時間が楽しい。
- Q 8 学校は楽しい。
- Q 9 友達と仲よく助け合おうとしている。
- Q 10 自分には良いところがあると思う。

《学校経営計画教職員自己評価》

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標・評価基準							
				努力指標	評価指標	成果指標					
確かな学力の向上	基礎・基本を大切に、児童が主体的に学ぶ授業を行い、思考力・判断力・表現力を身に付けさせた児童を育成する。	問題解決的な学習を充実させ、思考力・判断力・表現力を身に付けさせる。	生活科・総合的な学習の時間の指導の充実を図る。	生活科・総合的な学習の時間の授業改善を行う(3つ)	1. 8	4 高付いたことや考えたことなど工夫して表現している児童が30%	3. 4				
				生活科・総合的な学習の時間の指導改善を行う(3つ)	2. 6	3 高付いたことや考えたことなど工夫して表現している児童が20%	3. 6				
				生活科・総合的な学習の時間の指導改善ポイントを明確にする		2 高付いたことや考えたことなど工夫して表現している児童が10%					
				生活科・総合的な学習の時間の指導について学ぶ		1 高付いたことや考えたことなど工夫して表現している児童が1%					
				校内研究を進めて、身に付けさせる資質・能力を明確にし、授業改善を図る	3. 0	4 専・能力の観点で評定Aの児童が30%以上					
				教師自身が書いてみて書き方の指導のヒントを考える	3. 1	3 専・能力の観点で評定Aの児童が20%以上	2. 9				
				書くことの「種」を履行する指導を工夫する		2 専・能力の観点で評定Aの児童が10%以上	3. 2				
				書くことの推進を図るための活動を行う		1 専・能力の観点で評定Aの児童が10%未満					
				健康な生活	体力の向上、健康の維持増進、日常の指導の徹底を図り、児童の活力を引き出す	読書記録、読書量、目標、課題図書など、読書習慣を確立する。	読書活動を進め、読書習慣を確立する。	毎月1回は学校図書館を活用する機会を行う	3. 3	4 学年目標を達成し、課題図書を4冊以上読んだ児童が80%以上	
								学年の課題図書を読むための指導を行う	3. 3	3 学年目標を達成し、課題図書を4冊以上読んだ児童が60%以上	1. 4
学年目標(冊、ページ数)を達成するための指導を行う		2 学年目標を達成し、課題図書を4冊以上読んだ児童が40%以上	2. 2								
読書記録を確立し、一人一人の状況を把握し指導を行う		1 学年目標を達成し、課題図書を4冊以上読んだ児童が40%未満									
種もが楽しみながら運動できるような工夫をする	2. 7	4 体育の経験の観点で評定Aの児童が30%以上									
自分の課題にあった練習方法や練習の場を確保する	3. 4	3 体育の経験の観点で評定Aの児童が20%以上	3. 1								
非公式運動を年間約1時間設定し、指導の充実を図る		2 体育の経験の観点で評定Aの児童が10%以上	3. 2								
体育の授業における運動時間確保のための工夫をする		1 体育の経験の観点で評定Aの児童が10%未満									
4 観点の指導と評価を実施し改善を図る(90%以上)	2. 9	4 4観点がおおむね達成できた児童が90%以上									
3 観点の指導と評価を実施し改善を図る(70%以上)	3. 4	3 4観点がおおむね達成できた児童が70%以上	2. 4								
2 観点の指導と評価を実施し改善を図る(50%以上)		2 4観点がおおむね達成できた児童が50%以上	2. 9								
1 観点の指導と評価を実施し改善を図る(50%未満)		1 4観点がおおむね達成できた児童が50%未満									
豊かな心の育成	自他の生命を尊重し、互いに認め合える豊かな心を育成する	特別支援学級との交流を進め、思いやりを育むとともに、障害のある児童に対する理解を深める	特別支援学級との交流を進め、思いやりを育むとともに、障害のある児童に対する理解を深める	学級活動を主体的に実施し、指導と評価を繰り返す(90%以上)	2. 8	4 学級での話し合い、発表などに積極的に参加する児童が90%以上					
				学級活動を主体的に実施し、指導と評価を繰り返す(70%以上)	3. 0	3 学級での話し合い、発表などに積極的に参加する児童が70%以上	2. 9				
				学級活動を主体的に実施し、指導と評価を繰り返す(50%以上)		2 学級での話し合い、発表などに積極的に参加する児童が50%以上	3. 3				
				学級活動を主体的に実施し、指導と評価を繰り返す(50%未満)		1 学級での話し合い、発表などに積極的に参加する児童が50%未満					
				交流のねらいを達成するための工夫を行う(5つ以上)	1. 6	4 わくわく学級の児童と関わりがもたら児童が60%以上					
				交流のねらいを達成するための工夫を行う(4つ以上)	2. 8	3 わくわく学級の児童と関わりがもたら児童が40%以上	2. 3				
				交流のねらいを達成するための工夫を行う(2つ以上)		2 わくわく学級の児童と関わりがもたら児童が20%以上	3. 8				
				交流のねらいを達成するための工夫を行う(1つ以下)		1 わくわく学級の児童と関わりがもたら児童が20%未満					
				開かれた地域	家庭、地域に信頼される、開かれた学校づくりを推進する	安全、安心な教育環境を醸成する	学級だよりで学級の児童の様子を伝える	年間2号以上発行する	2. 7	4	
								年間2号以上発行する	2. 9	3	
年間1号以上発行する		2									
出せなかった		1									

\*上段：中間評価 下段：年間評価

《保護者、児童アンケート結果・教職員自己評価に関する考察》

- \* 「児童が主体的に考えたり発表したりする授業の実現」に関しては、保護者からは「そう思う」「少しそう思う」を合わせた肯定的評価(以下、肯定的評価)は68%となりました。一方、児童の自己評価では肯定的評価は80%で、昨年度より8%アップしました。今後さらに、児童が主体的に取り組んでいくことができるよう授業改善に努めてまいります。
- \* 「生活科、総合的な学習の時間への取り組み」に関しては、91%の児童が肯定的に評価していることが分かりました。各学年での取り組みが、児童への高評価に繋がったものと考えられます。今後さらに授業改善に努めていきます。
- \* 「児童の書く力の育成」に関しては、保護者からの肯定的評価は67%と昨年度より6%アップしました。また、児童の「文章を書くことが好き」に対する肯定的評価は68%となり、トータルとしては昨年度と変わりませんでした。国語の「書くこと」の領域で校内研究に取り組んできた成果を生かし、今後も書くことへの指導の改善を図ってまいります。
- \* 「読書への取り組み」に関しては、保護者、児童ともに肯定的評価は70%余りですが「そう思う」の割合がアップしています。読む力は、様々な学習の中での基本の力となるものです。そのために、様々な本に興味をもつ機会を与えていきたいと考えています。今後も読書指導を充実させるとともに、ご家庭にもご協力をいただき、すすんで読書に取り組む児童を育てていきたいと考えています。
- \* 「外遊び、運動への取り組み」に関しては、保護者からの肯定的評価は74%と昨年より7%下がっています。一方、児童の体育の授業への取り組みについては90%を超える児童が肯定的に回答しています。新体力テストの結果を見ると、児童の運動能力と体力の多くが国や都の平均を下回っています。引き続き体育の授業改善や中休みや昼休みでの外遊びの励行を行ってまいります。ご家庭でも運動や外遊びに親しむ環境作りにぜひご協力ください。
- \* 「元気よく返事やあいさつをしている」に関しては、77%の保護者、88%の児童が肯定的な評価をしています。学校では、よい挨拶の具体的な姿として「①自分から②顔を見て③元気な声で④笑顔で」を示し、

指導しています。ご家庭でも挨拶や返事、言葉遣いなど社会へ出ても通用するマナーが身につくようご指導をよろしくお願いいたします。

- \* 「子どもは楽しく学校に通っている」に関しては、90%を超える保護者および児童の肯定的な評価が見られます。今後も、いじめのない学校、困ったことはすぐに相談できる学校を目指し、どの児童も学校が楽しいと思えるような学級、学校作りを行ってまいります。
- \* 「子どもは友達と仲良く生活している」に関しては、概ね良好ですが、今後も学校がどの児童にとっても安心して居られる場になるよう全教職員が一人一人の児童に目を向け、気掛かりなことがあれば共通理解を図って対応してまいります。児童の変化や心配なことがありましたら、担任や学校にぜひご相談ください。
- \* 「学校はホームページやメール、便りなどで学校の様子を伝えている」に関しては、84%の保護者から肯定的な評価を得ています。ホームページでは、学校行事や学習の様子など伝えています。中でも移動教室については児童の様子をその日のうちに載せ、多くの方にご覧いただいています。また、天候による授業開始時刻の変更や学級閉鎖の連絡は、お便りに加えメールでの配信も行ってきました。学級だよりには、学年だよりでお伝えし切れない学級での児童の様子をお知らせすることができます。しかし、学年が上がるほど学級だよりを作成する時間がなかなかとれないという実態があります。無理のない範囲で学級だよりを発行できるように取り組んでまいります。
- \* 「自分には良いところがあると思う」に関しては、20%の児童が否定的に回答しています。失敗体験が多くなると自己肯定感が低くなります。「減点式でなく加点式で褒める。」「出来るようにして褒める。」「当たり前のことでもできていたら褒める。」等、成功体験を増やしていきたいと思えます。

## 《保護者の皆さまからのご意見》

### 1. 学習について

- ・文章を書くことに対して、抵抗感はなくなったが、書く力が身についたとは思えない。これからも書く機会を多く取り入れてほしい。
- ・グループでディスカッションする等、多くの子供が主体的に考え、意見を表明する時間であってほしい。
- ・自分の考えを人前で恥ずかしく言える子になってほしい。
- ・宿題の量が多い／少ないと感じる。

#### 【学校より】

- ・昨年度から本校では、国語の「書く力」の指導に重点を置いた研究に取り組んできました。これまでの校内研究での積み重ねをしっかりと活かし、改善を図っていきます。
- ・新学習指導要領で求められている「主体的・対話的で深い学び」の視点からこれからも授業改善を図っていきます。
- ・宿題の量・内容については、各学年で相談・判断して出しています。子供たちの実態に合わせ、内容を検討・調整していきます。

### 2. 読書活動について

- ・本を読んでもらうのは好きだが、自分で読もうとしないので、今後も学校全体で読書に力を入れてほしい。
- ・本を読むことが好きなので、石西小の本の紹介や先生のおすすめはいつも楽しみにしている。今後も続けてほしい。
- ・読書に力を入れていることが素晴らしい。これからも続けてほしい。
- ・読書マラソンで読むことの楽しさを知り、自分でもいろいろと本を借りて読むようになったと感じる。

#### 【学校より】

- ・読書への取り組みが多くの子供たちの支持を得ていることが分かりました。今後も、子供たちが本に慣れ親しむことが出来るようご家庭の協力も得ながら取り組んでまいります。

### 3. 運動・体力について

- ・運動量は少ないと感じる。持久走やボール投げなど、定期的に体を動かし、タイムや飛距離など子供自身が成長や努力を感じ取れる機会を増やしてほしい。

#### 【学校より】

- ・学校では、中休み、昼休みには外遊びを推奨しています。また、体育の授業では、サーキットトレーニングを行って、鉄棒や登り棒での運動やバトンスローでの投力運動の機会を増やす取り組みをしています。体力向上のためには、普段の生活で体を動かすことがなにより大切です。ぜひ、ご家庭でも体を動かすことをお勧めください。そしてお子様と一緒に外遊びなどもご協力ください。

## 4. 生活について

### ○思いやり

- ・子供自身で考え、本当の友達を見つけられる力を育てていけたらと思う。相手を思いやり、相手の立場で考えることのできる人間力について家庭でも話していきたい。
- ・高学年と低学年の子供たちの交流が良い形で行われていると感じる。他者を思いやる気持ちが育っている。先生の指導が大きい。先生の姿を通じて子供たちも成長する。
- ・毎日楽しく学校に通っている。多少のもめごとはあるようだが、自分たちで考えて友達と接しているようだ。
- ・先生は子供の様子をよく見て、自主性も伸ばしてもらっている。厳しすぎず、伸び伸びと寛容な対応のおかげで楽しく学校に通えている。失敗は必要以上に注意しなくても反省ができているようだ。友達とけんかすることもあるが、翌日には仲直りしていて、後を引くことはなくやっているようで良い。

### ○あいさつ

- ・あいさつ運動に力を入れていることがすばらしいと思う。これからも続けて欲しい。
- ・登下校時は子供たちの大きな声での挨拶が返ってこない。挨拶は大人からされるものと感じているのか、自らしてきてくれる子は皆無である。また子供たち同士で挨拶を交わし合う姿も見ない。

### 【学校より】

- ・石西小では、シャクニーシーという縦割り班活動があり、全学年で遊ぶ児童集会もあります。全校で関わることもあり、仲良く生活しています。学校生活の中では、友達とトラブルもいろいろありますが、担任を始め全教職員でいじめ防止対策方針のもと早期対応に取り組んでいます。
- ・学校ではすすんで挨拶ができるよう指導しています。来校者の方々から、子供たちの挨拶のことで褒めていただくことも多くあります。ご家庭、地域とも連携して今後も取り組んでいきます。

## 5. 開かれた学校について

### ○学校行事

- ・学校行事が平日に多く、参加したくてもできないので残念。

### ○学校だより、学年・学級だより

- ・学級だよりをこまめに配信していただけるのはありがたい。
- ・学級だよりでは、授業で取り組んでいることだけでなく、休み時間の様子もわかり楽しく読んでいる。
- ・クラスの様子を知りたい。(土日仕事で学校に行けない)

### ○学校ホームページ、メール配信

- ・メールはお便りより速く、正確な情報が届くのでよい。
- ・初めての子供や低学年児童の保護者には、学校の様子や行事の情報が伝わりにくいので、ホームページ等で知らせて欲しい。

### 【学校より】

- ・各学期に1回ずつ、年間3回行っている学校公開日は平日に設定しています。そのほかに年間8回行っている第2土曜授業も参観していただけます。縦割り班活動の1つであるシャクニシランドは土曜授業日に実施しています。ぜひご来校ください。
- ・昨年度から引き続き、学級だよりで子どもの様子をご家庭にお知らせしようと取り組んできました。しかし、高学年などは、学級だよりを作成する時間がなかなかとれません。無理のない範囲で発行できるよう今後も努めてまいります。
- ・今年度は学校だよりの内容を見直し、児童の活動の様子を写真と共に伝えたり、学年毎に『児童全員の一言』を載せたりしてきました。来年度も引き続き分かりやすい紙面を目指して学校だよりを作成していきます。
- ・学校ホームページには、校内での学習活動や行事の様子などをアップしています。今後も学校ホームページの充実に努めてまいります。

## 6. その他

- ・学校行事の写真販売の掲示・申し込み期間を知らせて欲しい。
- ・複数の友達と一緒に過ごすのは、あまり得意ではないようだ。スクールカウンセラーの先生をすごく信頼しているようだ。
- ・近隣では「ねりっ子」クラブを行っている。ひろばや校庭開放もよいが、石西小でも取り入れて欲しい。

### 【学校より】

- ・写真販売の掲示・申し込み期間については、学年だよりや学校だよりに掲載するようにしていきます。
- ・スクールカウンセラーや心のふれあい相談員の在室日時については、学校だよりに毎月掲載していますので、ご活用ください。また、専用電話番号は(080-2012-1564)です。お気軽にご利用ください。
- ・ねりっ子クラブについては、練馬区として概ね10年かけて全校(65校)に導入する予定です。30年度までに13校に導入されました。本校への導入については、区の方針のもとに決定します。

